

実態調査結果

④ ヤングケアラー

令和3年9月

北海道保健福祉部

北海道教育委員会

【調査目的】

支援が必要なヤングケアラーの早期発見に向けた取組や適切な支援につなげるための具体的な方策を検討するため、ヤングケアラー本人が抱える悩みのほか、関係機関における相談支援の実態を把握することを目的に実施。

【主な調査項目】

- ・自分がお世話している家族の有無
- ・ヤングケアラーとの関係
- ・お世話の状況（頻度など）
- ・ヤングケアラーの状況（学校生活への影響、ケアについて相談した経験の有無など）

【調査対象】

道内公立中学2年生、公立高校2年生（全日制・定時制）（札幌市立校を除く）

【調査対象数】

約5万人

【回答件数】

有効回答数 11,231件（回収率 約22%）

ヤングケアラー支援に係る調査結果【生徒用】

調査結果の表記について、小数点第2位を四捨五入した値を表記しているため、合計が100.0にならない場合がある。

一部の項目において、未回答等があるため、合計は必ずしも一致しない場合がある。

<全回答者対象>

1 回答者の学年

	人数
中学2年生	6,411
全日制高校2年生	4,642
定時制高校2年生	178

2 回答者の性別

	男性	女性	未回答等	計
中学2年生(N=6411)	48.4%	50.3%	1.2%	100.0%
全日制高校2年生(N=4642)	47.1%	51.1%	1.9%	100.0%
定時制高校2年生(N=178)	59.6%	37.6%	2.8%	100.0%

3 現在住んでいる地域

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	未回答
中学2年生(N=6411)	7.5%	10.2%	4.6%	15.0%	2.4%	7.4%	1.8%	14.2%	1.2%	1.3%	6.9%	17.2%	6.9%	0.9%	2.5%
全日制高校2年生(N=4642)	4.7%	27.4%	2.4%	11.1%	3.4%	6.4%	1.5%	15.0%	3.4%	1.6%	6.2%	6.9%	2.6%	3.3%	4.1%
定時制高校2年生(N=178)	0.6%	36.5%	10.1%	6.7%	0.6%	5.6%	1.1%	14.0%	1.7%	0.0%	1.7%	1.7%	2.8%	1.1%	14.7%

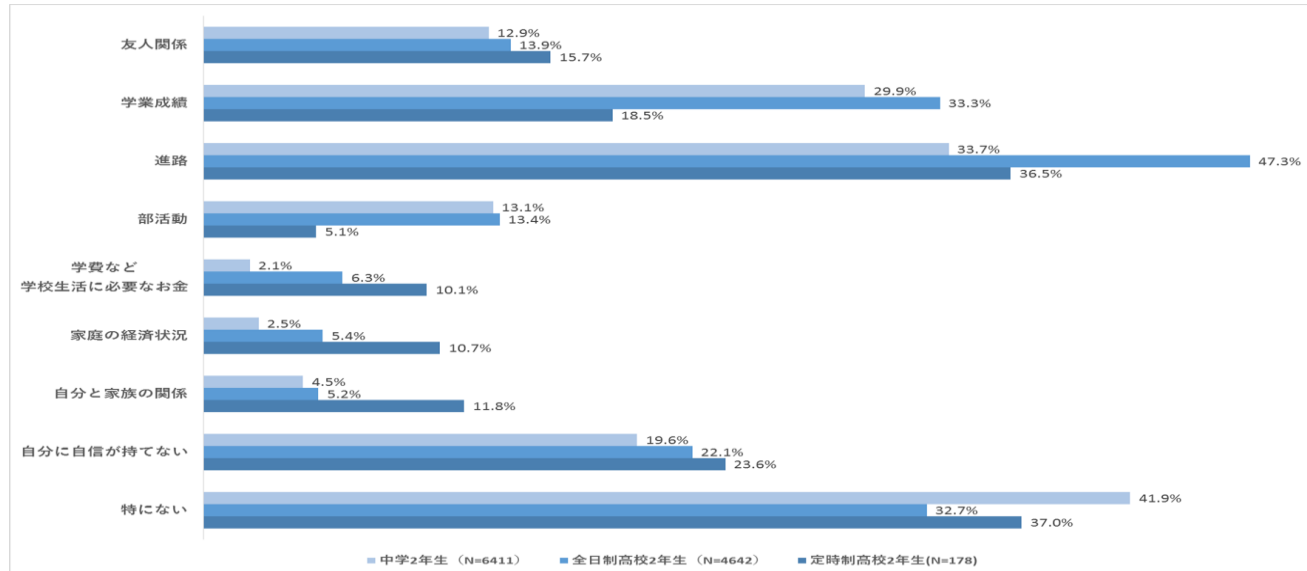
4(1) 家族の人数

	1人	2人	3人	4人	5人以上
中学2年生(N=6411)	0.3%	4.1%	18.8%	37.7%	33.8%
全日制高校2年生(N=4642)	1.4%	7.5%	25.7%	35.5%	26.0%
定時制高校2年生(N=178)	2.8%	15.2%	23.6%	27.0%	28.2%

(2) 単身赴任している父母

	いる	いない
中学2年生(N=6411)	9.3%	89.7%
全日制高校2年生(N=4642)	10.2%	88.9%
定時制高校2年生(N=178)	3.9%	92.7%

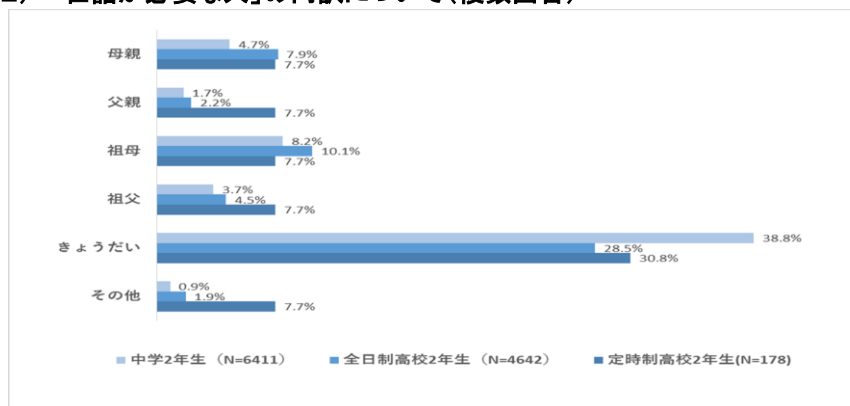
5 悩んだり困っていること(複数回答)



6(1) 世帯の中で世話が必要な人の有無

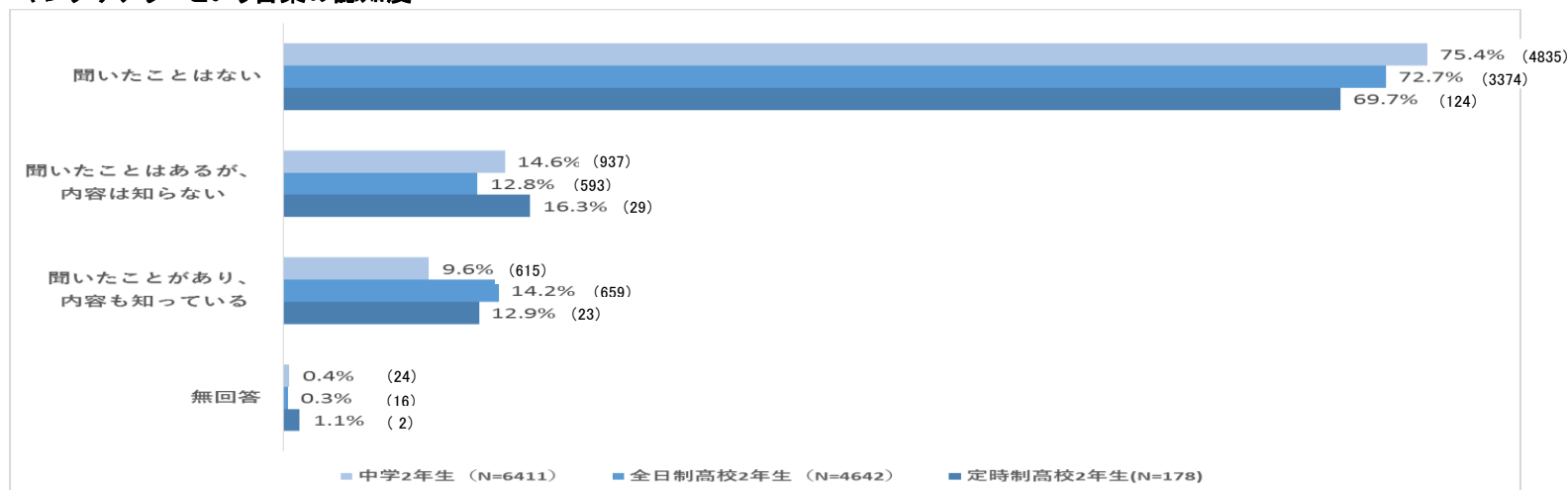
	いる	()内は実人数
中学2年生(N=6411)	7.2%	(464)
全日制高校2年生(N=4642)	5.8%	(267)
定時制高校2年生(N=178)	7.3%	(13)

(2) 「世話が必要な人」の内訳について(複数回答)



7(1) ヤングケアラーという言葉の認知度

()内は実人数



(2) ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ(複数回答)

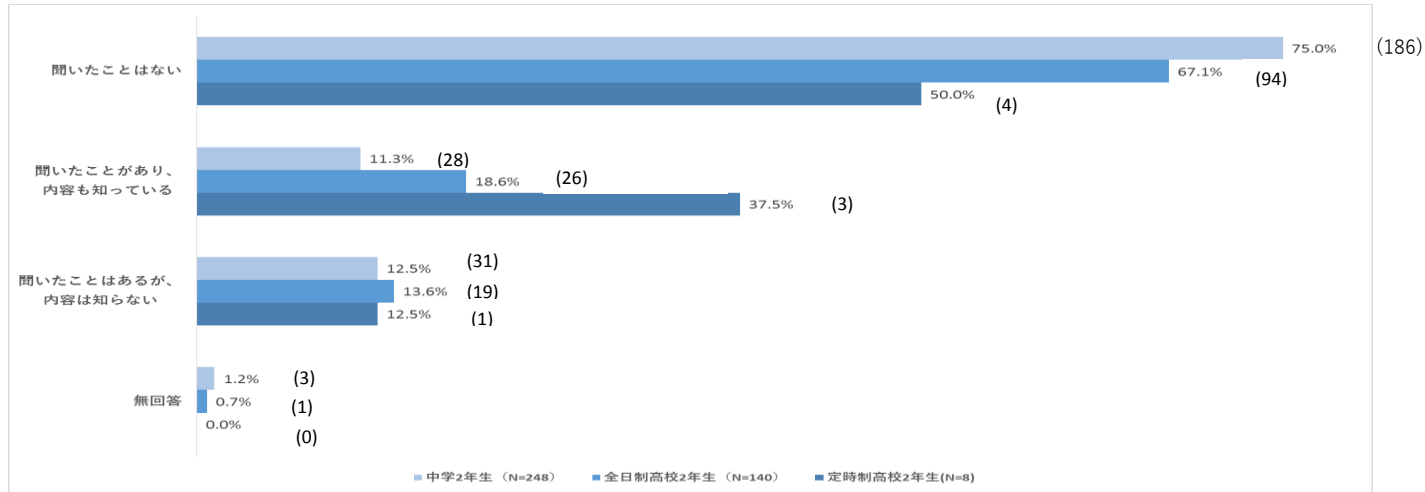
	テレビや新聞	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	学校	友人、知人から聞いた	その他
中学2年生(N=1552)	67.4%	7.6%	23.7%	4.1%	1.0%	24.2%	5.4%	3.9%
全日制高校2年生(N=1252)	60.0%	4.3%	24.1%	2.5%	0.5%	37.5%	3.8%	3.4%
定時制高校2年生(N=52)	38.5%	3.8%	21.2%	5.8%	5.8%	69.2%	11.5%	9.6%

<以下ヤングケアラーからの回答>

1 認知度

(1) ヤングケアラー当事者における「ヤングケアラー」という言葉の認知度

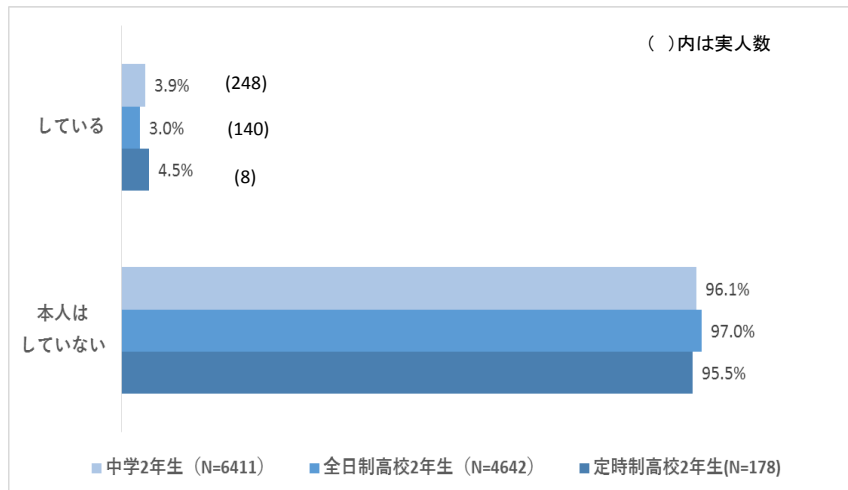
()内は実人数



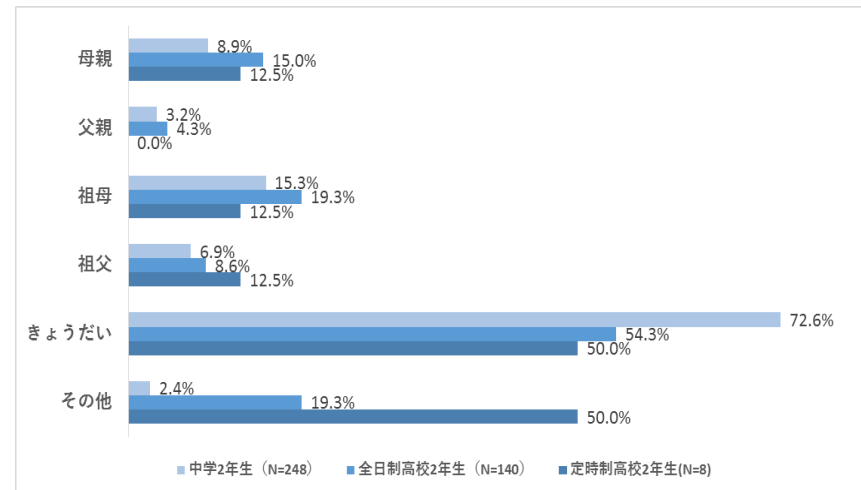
2 世話の内容

(1) 回答者本人が世話をしていると答えた割合 (ヤングケアラーの割合)

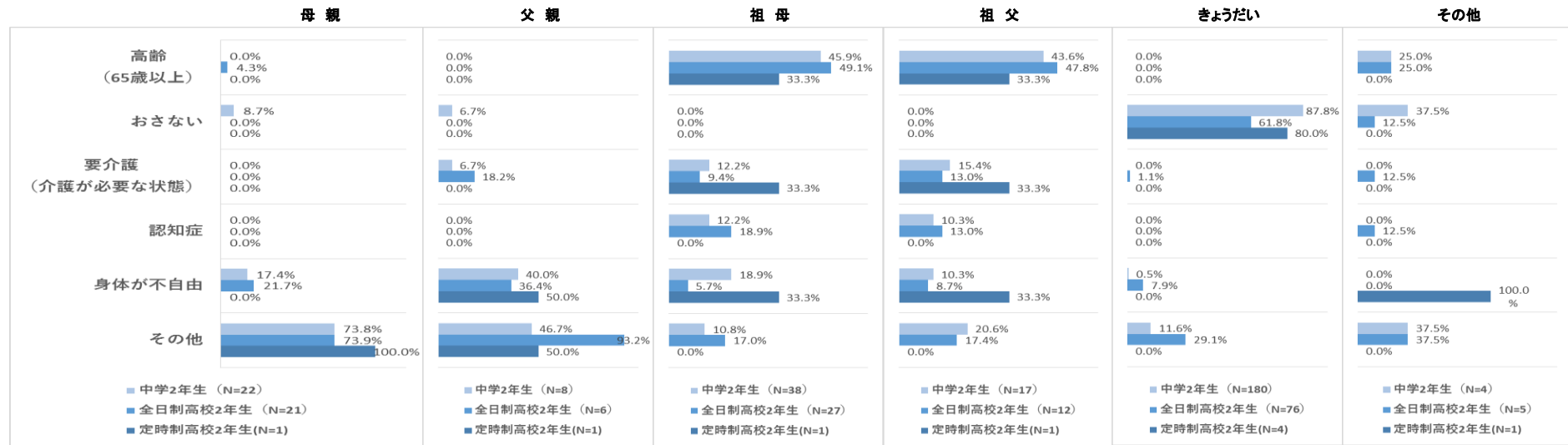
()内は実人数



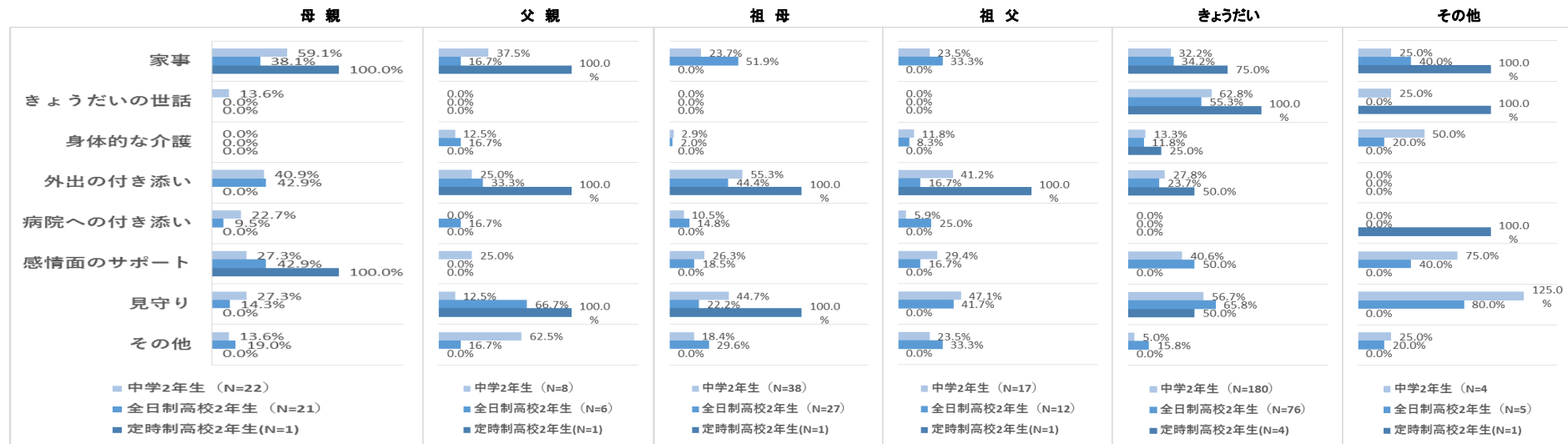
(2) 「世話をしている」人の内訳 (複数回答)



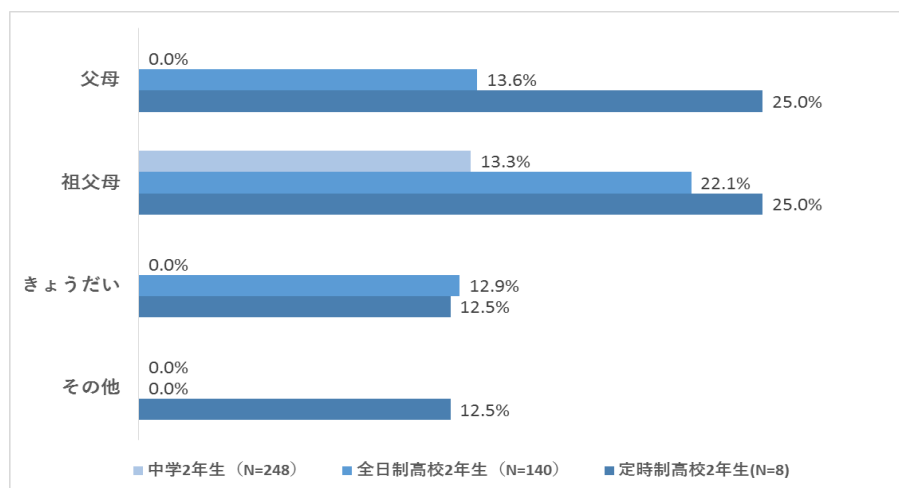
3 世話している者の身体等の状況(複数回答)



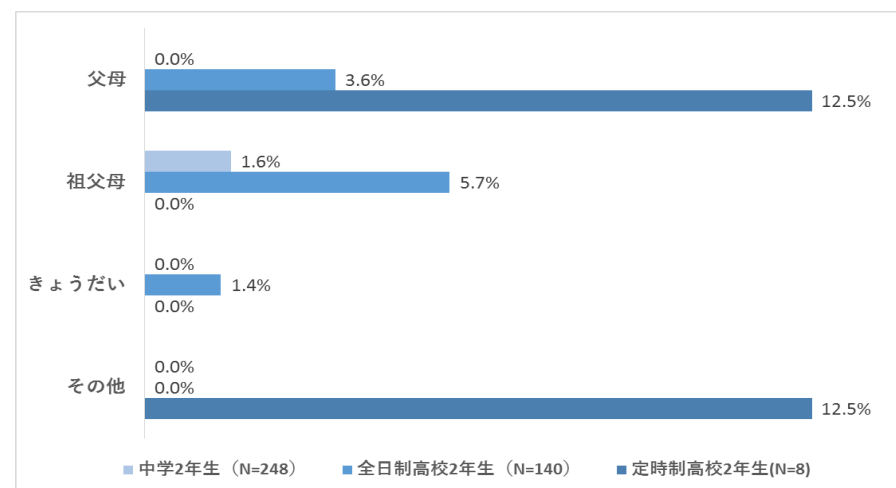
4 どのような役割を任っているか(複数回答)



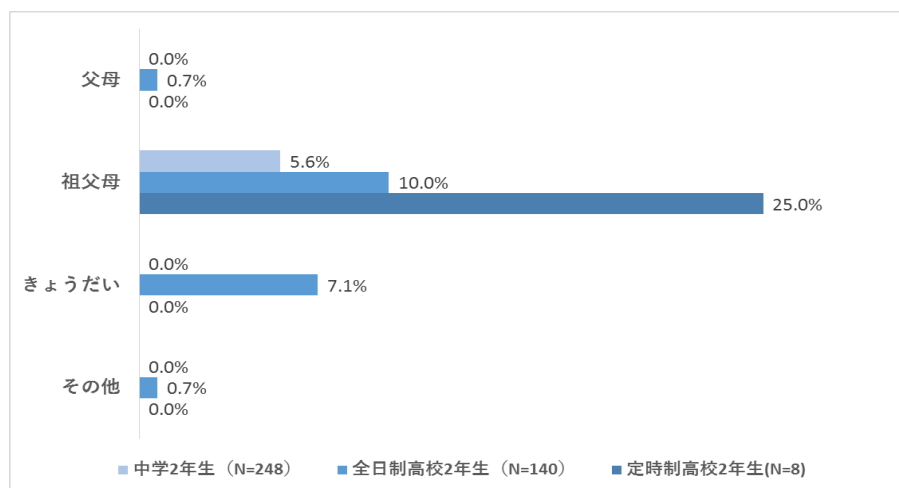
5(1) 世話が必要な人が医療機関を利用している割合



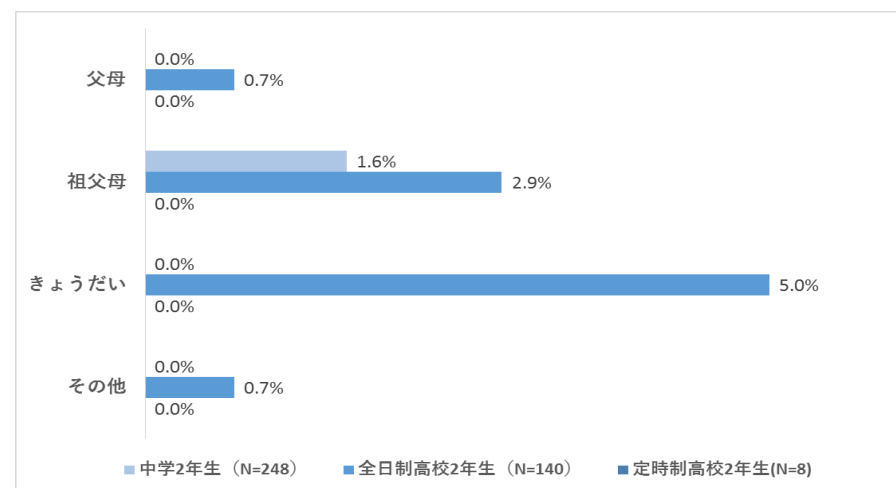
(2) 世話が必要な人に関して医療関係者へ相談したことがある人の割合



6(1) 世話が必要な人が福祉サービスなどを利用している割合



(2) 世話が必要な人に関して福祉サービスの方に相談したことがある人の割合

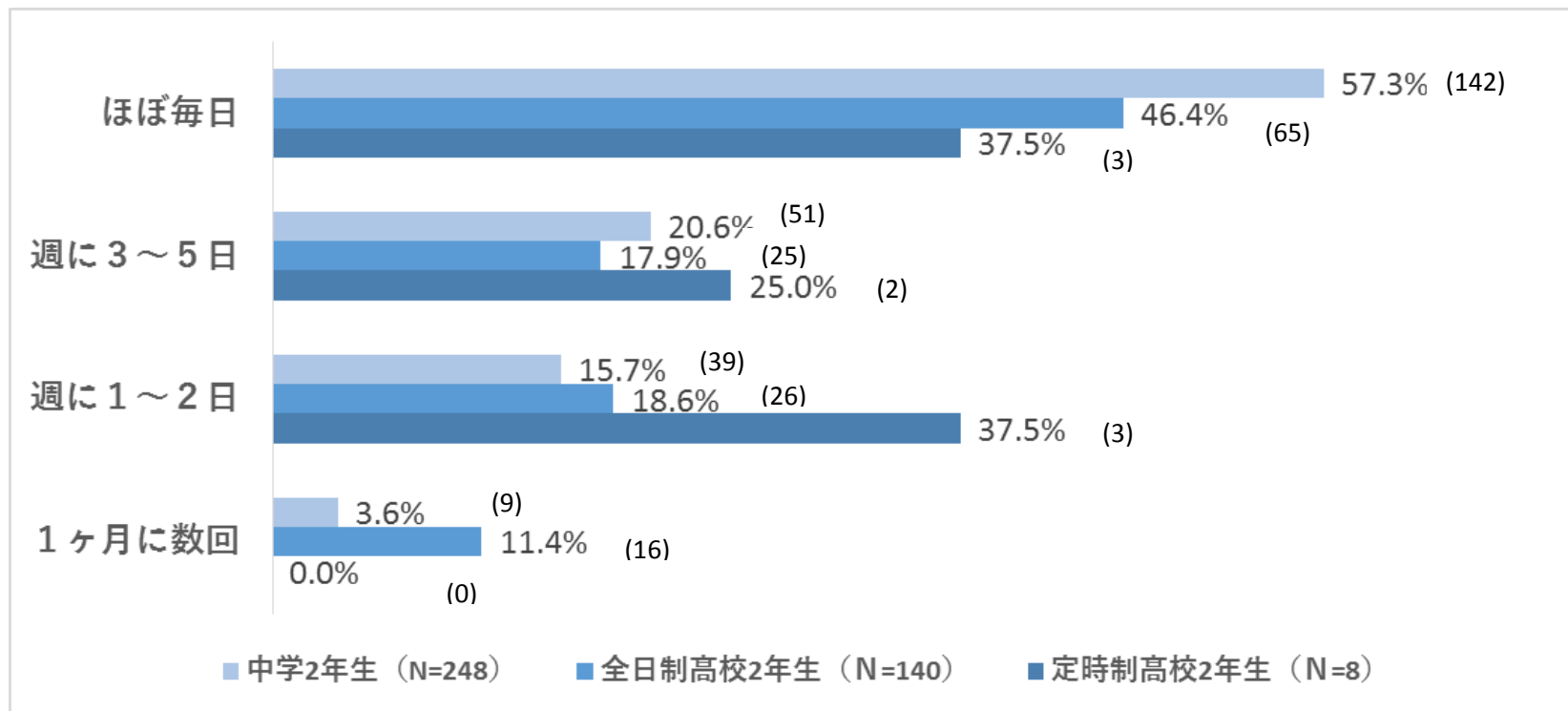


7 世話を始めたのは何歳からか

	小学校入学前	小学生	中学生	高校生
中学2年生 (N=248)	13.3%	72.6%	8.9%	—
全日制高校2年生 (N=140)	10.0%	30.1%	27.8%	16.5%
定時制高校2年生 (N=8)	12.5%	37.5%	12.5%	12.5%

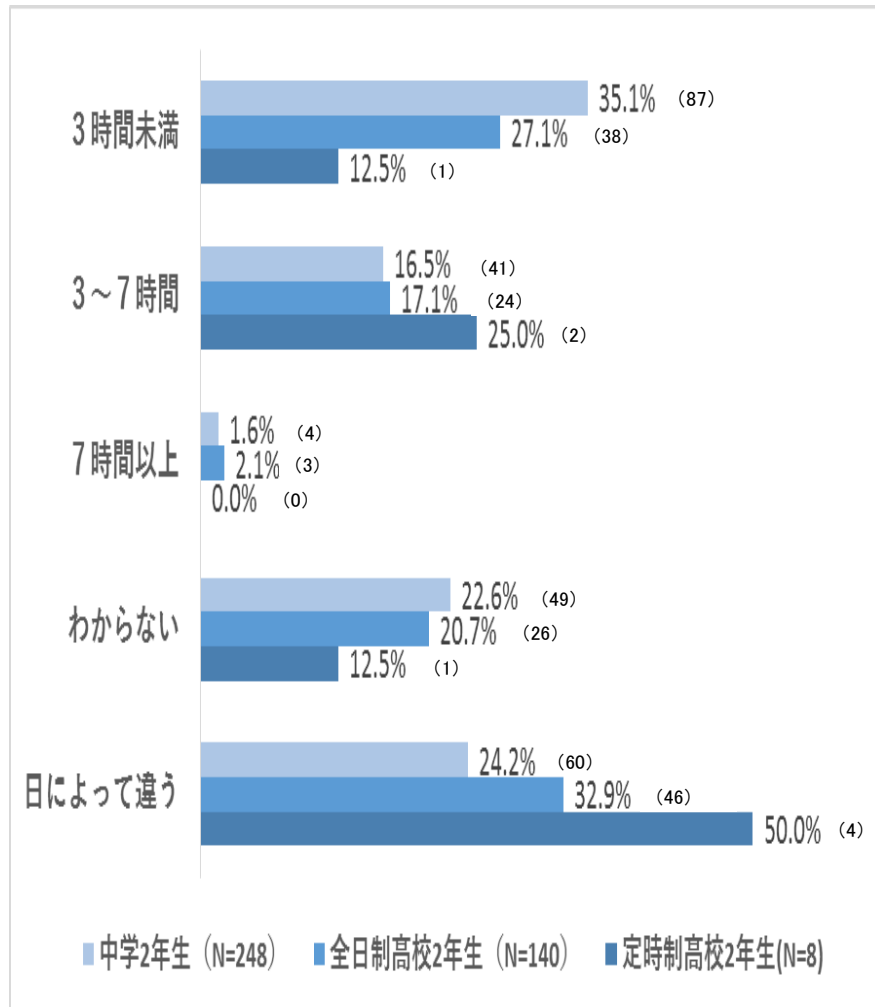
8 世話の頻度

()内は実人数

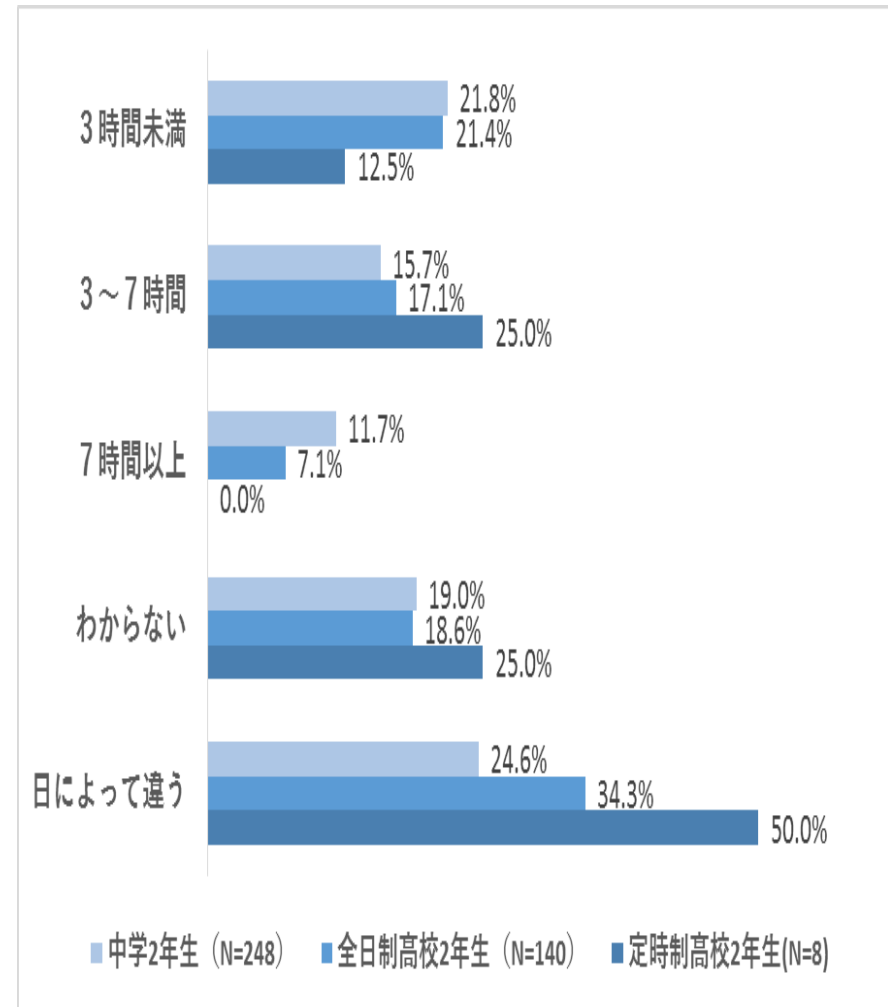


9(1) 平日に世話をしている時間

()内は実人数

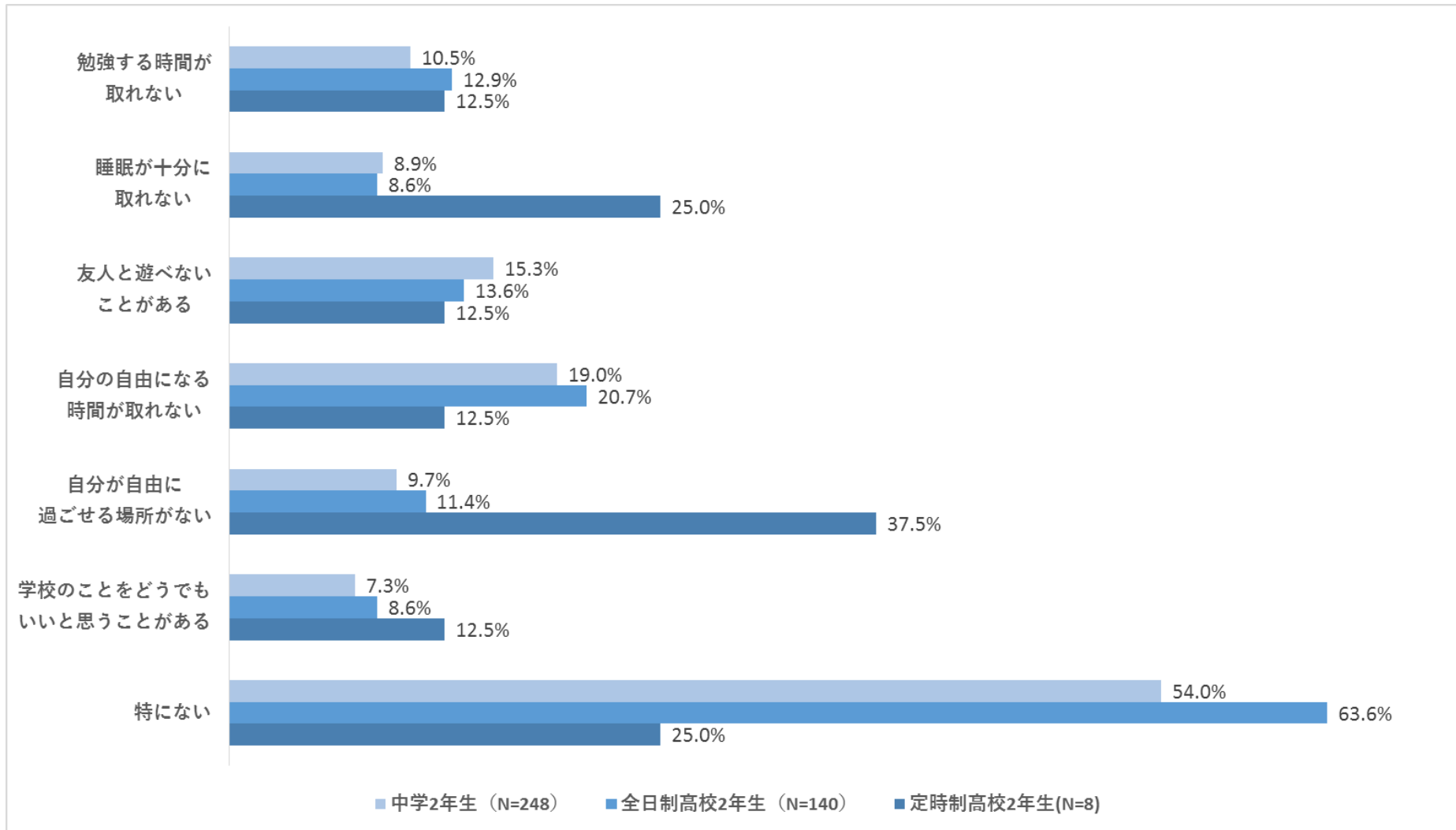


(2) 休日に世話をしている時間

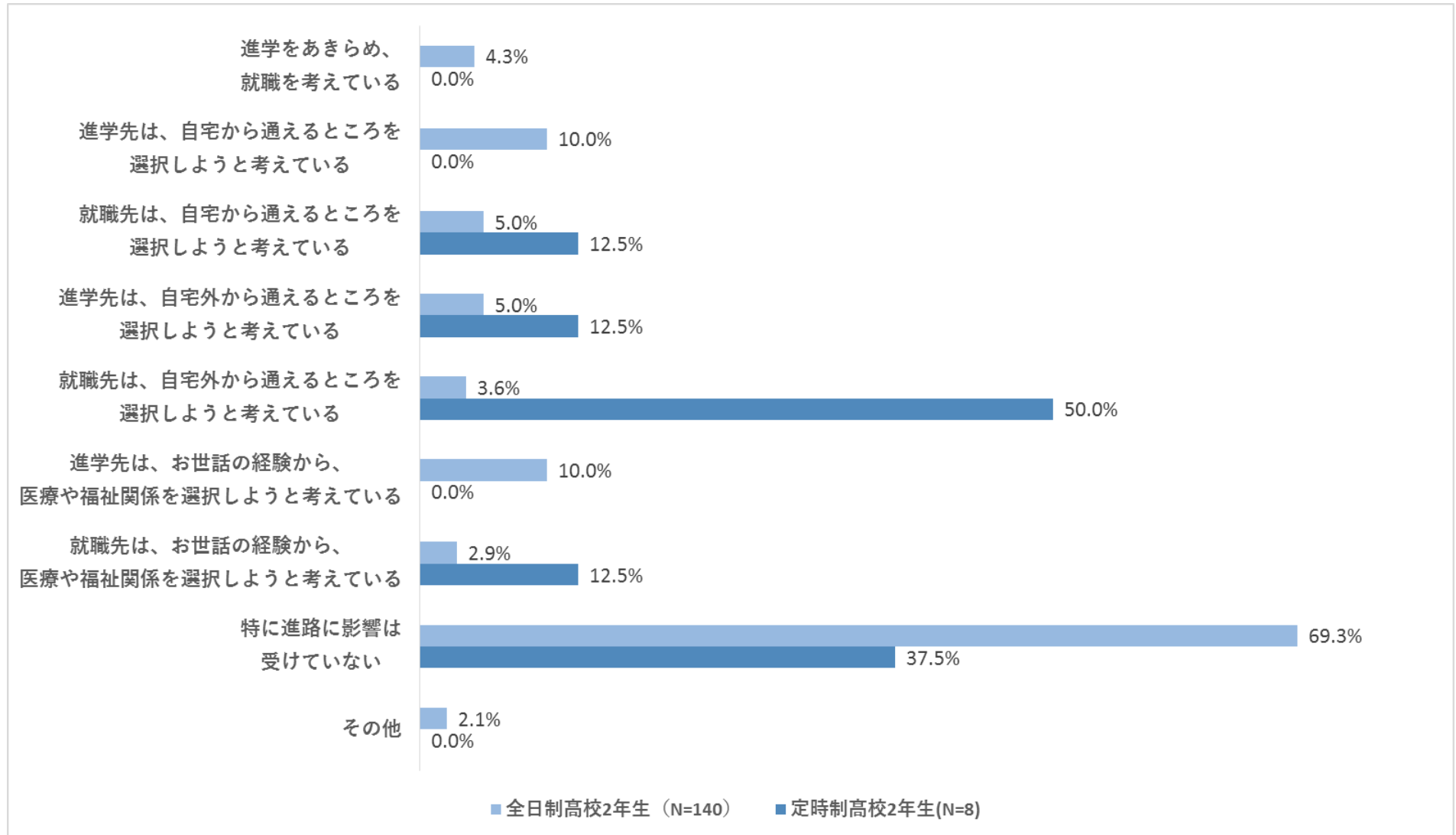


10 学校生活への影響など

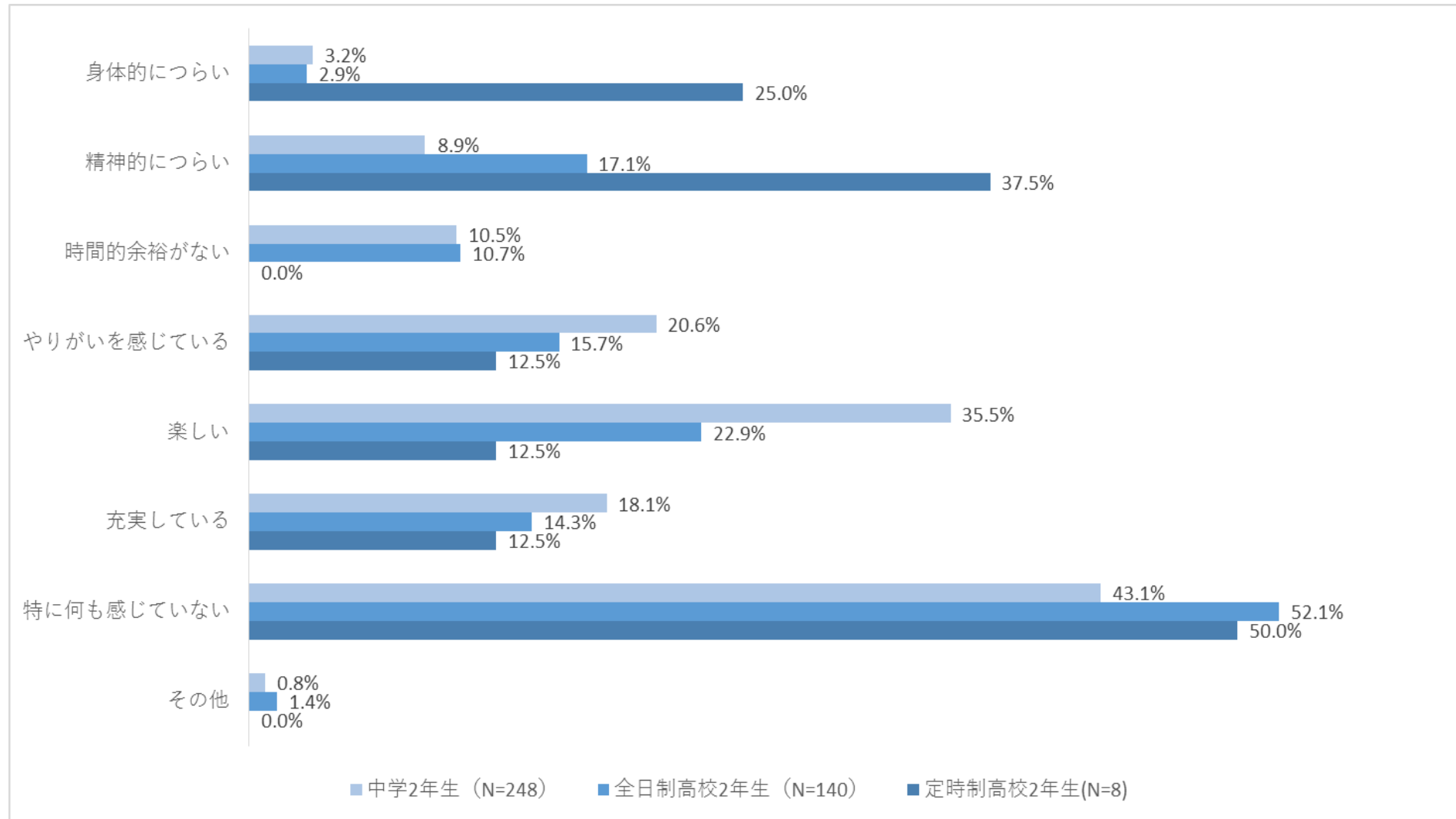
※各項目で「よくある」、「たまにある」を合算した割合



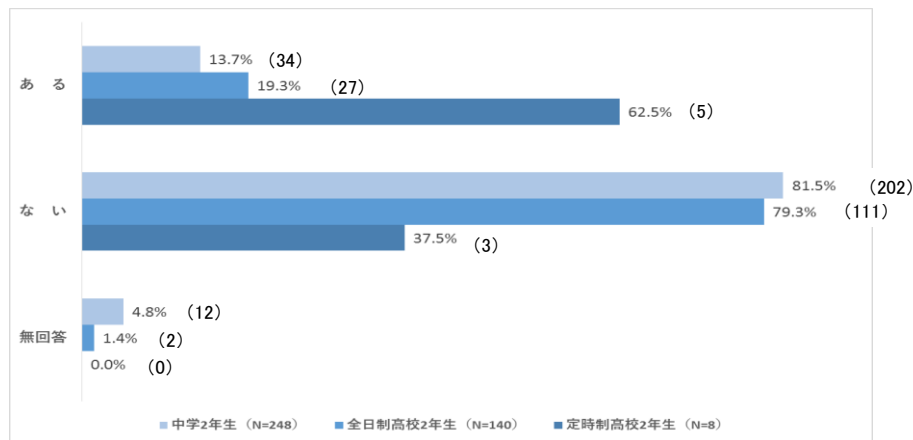
11 今後の進路への影響について(※高校生のみ)(複数回答)



12 普段の生活への影響(複数回答)

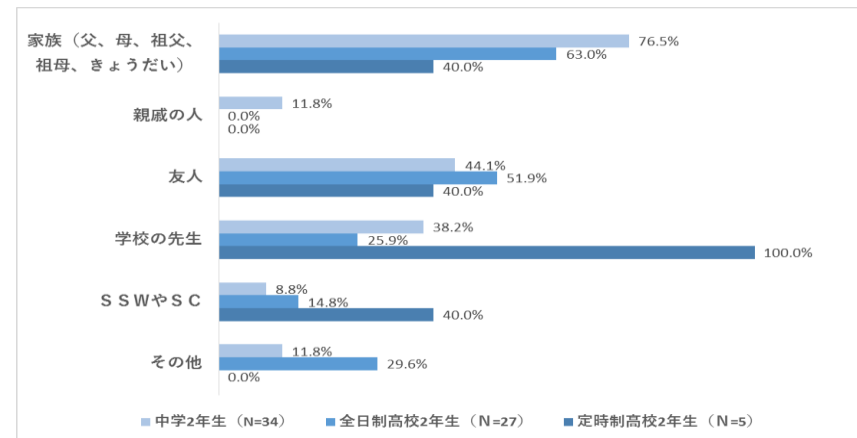


13(1) 日頃の悩みを相談した経験の有無



()内は実人数

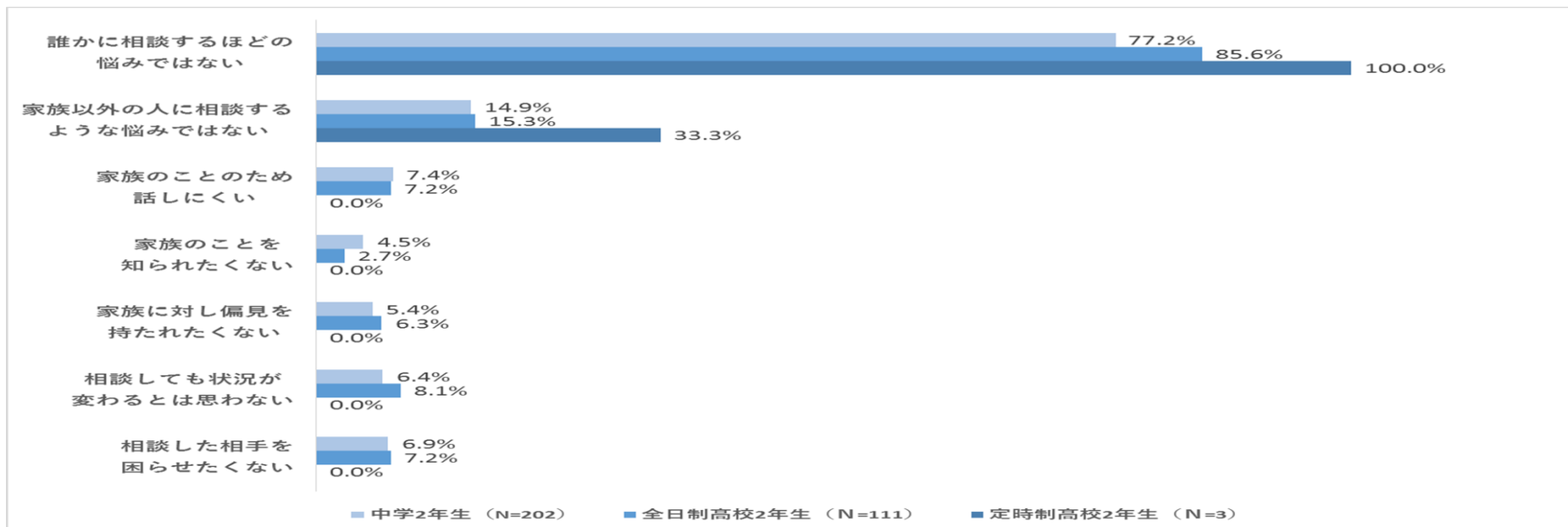
(2) 相談した相手(複数回答)



※SSW ~ スクールソーシャルワーカー

※SC ~ スクールカウンセラー

(3) 相談していない理由(複数回答)



14 世話をしている現状を理解している人(複数回答)

	学校の先生	保健室の先生	SSWやSC(※)	親戚の人	医師や看護師など	その他
中学2年生(N=248)	34.7%	6.9%	1.6%	46.0%	8.4%	37.1%
全日制高校2年生(N=140)	22.9%	3.6%	1.4%	37.1%	11.5%	54.9%
定時制高校2年生(N=8)	62.5%	37.5%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%

※SSW ~ スクールソーシャルワーカー

※SC ~ スクールカウンセラー

15 学校の先生や周りの大人に支援してほしいこと

